

根こぶ病

【学名：*Plasmodiophora brassicae* Woronin】



写真1 キャベツほ場でのしおれ症状



写真2 根にできた「こぶ」

【被害と発生生態】

- ・被害作物…キャベツ，ハクサイ，ブロッコリー等のアブラナ科作物
- ・発生部位…根
- ・発生好適条件…菌の発育適温は20～24℃です。春播きや夏播きの作型で発生します。

【見分け方】

- ・発病株は，晴天の日中に下葉から萎れるようになります。健全株と比較すると，明らかに生育が遅延します。
- ・発病株を抜いて根を確認すると，大小のこぶが多数見られます。

【対策】

- ・アブラナ科以外の作物で輪作し，3年以上の期間をあけて作付けてください。
- ・酸性土壌では，石灰等の施用によりpHを7.0以上に矯正して作付けてください。
- ・ほ場の排水対策を行ってください。
- ・本病害の抵抗性品種を導入してください。

参考文献

米山伸吾・草刈眞一・柴尾学，病気・害虫の出方と農薬選び，農山漁村文化協会